

【知識及び技能】我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変化を、自然環境の変化や大陸からの影響に着目して理解させる。 ・藤原北家の発展過程や地方支配の変化を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺物や遺構など考古学上の知見から、旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 ・諸資料を収集して分析し、ヤマト政権の発展や古墳文化の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・桓武天皇や嵯峨天皇の政策に着目して、律令制の変容について考察し、表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	・日本文化のあけぼの ・古墳とヤマト政権 ・律令国家の形成 ・貴族政治の展開	【知識及び技能】 ・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変化を、自然環境の変化や大陸からの影響に着目して理解している。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し、渡来人のもたらしたものが現在の日本文化の基層にあることを理解している。 ・藤原北家の発展過程や地方支配の変化を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺物や遺構など考古学上の知見から、旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 ・諸資料を収集して分析し、ヤマト政権の発展や古墳文化の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・桓武天皇や嵯峨天皇の政策に着目して、律令制の変容について考察し、表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ・諸資料から情報を読み取り、源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色と、その関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・武家政権成立期の宗教や文化にみられる特色を、平安時代と比較しながら主体的に追究しようとしている。	・院政と武士の進出 ・武家政権の成立 ・武家社会の成長	【知識及び技能】 ・諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ・諸資料から情報を読み取り、源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色と、その関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・武家政権成立期の宗教や文化にみられる特色を、平安時代と比較しながら主体的に追究しようとしている。	○	○		22
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【知識及び技能】 ・アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ・幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人びとの生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。 ・幕藩体制が安定していくなかでの経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	・近世の幕開け ・幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の動揺	【知識及び技能】 ・アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ・幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人びとの生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。 ・幕藩体制が安定していくなかでの経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	45
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 ・アジア諸国の変化や貿易開始に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響などを理解している。 ・諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	・開国とその影響 ・明治維新 ・立憲国家の成立	【知識及び技能】 ・アジア諸国の変化や貿易開始に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響などを理解している。 ・諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
合計							105

使用教科書： (第一学習社版「高等学校 政治・経済」)

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、民主主義を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 ・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 ・個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。 ・企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 ・自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	オリエンテーション 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 ①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 ③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 第3節 市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題	・政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 ・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 ・個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。 ・企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 ・自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	25
	・財政の機能としくみについて、理解している。	第4節 持続可能な財政および租税のあり方	・財政の機能としくみについて、理解している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考				

2 学 期	・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現在の日本経済の現状と課題について，理解している。 ・現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の社会保障制度について，理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。 ・21世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。 ・日米安全保障協力の变化と自衛隊の海外派遣について，理解している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。	第5節 金融を通じた経済活動の活性化 ①金融のしくみとはたらき 第6節 経済活動と福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 第2章 現代日本の諸課題の探究 第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み 第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 ①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割	・「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現在の日本経済の現状と課題について，理解している。 ・現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の社会保障制度について，理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。 ・21世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。 ・日米安全保障協力の变化と自衛隊の海外派遣について，理解している。 ・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。	○	○	○	30
3 学 期	・国際経済における日本の地位について，理解している。 ・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	第4節 国際経済において求められる日本の役割 ①国際経済における日本の地位と国際協力 第2章 国際社会の諸課題の探究	・国際経済における日本の地位について，理解している。 ・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 ・取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	15
							70

都立拝島高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

保健体育

科目 体育

教科 科：保健体育

科目 目：体育

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組 男子

教科担当者：（1 組：日野、伊藤（2 組：日野、伊藤、（3 組：日野、伊藤（4 組：日野、伊藤（5 組：日野、伊藤（6 組：日野、伊藤（7 組：日野、伊藤

使用教科書：（

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に関与することを目指す。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体 つ くり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・ムカデリレー ・全員リレー	A 体 つ くり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳(1・2学期) 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 H バドミントン(通年選択科目) 【知識及び技能】 バドミントンの特性やルールについて理解するとともに、シャトルをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組む態度を養う。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解 ・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	D 水 泳 E 球 技	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。 ・バドミントンの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	14
	H テニス(通年選択科目) 【知識及び技能】 テニスの特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球 技	・テニスの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	35
	H 卓球(通年選択科目) 【知識及び技能】 卓球の特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球 技	・卓球の特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	
	H アルティメット(通年選択科目)	・ドリブル		・アルティメットの特性を理解するととも				

[illegible]

科目 **体育**

科 目： 体育

單位數： 3 單位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組 女子

教科担当者：（１組：日野、笹原）（２組：日野、笹原、）（３組：日野、笹原）（４組：日野、笹原）（５組：日野、笹原）（６組：日野、笹原）
（７組：日野、笹原）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に取り組む態度を身に付ける。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体つ くり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・ムカデリレー ・全員リレー	A 体つ くり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳（1・2学期） 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 D バドミントン（通年種目選択） 【知識及び技能】 バドミントンの特性やルールについて理解するとともに、シャトルをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組む態度を養う。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解 ・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	D 水泳 E 球技	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。 ・バドミントンの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	14
	H テニス（通年種目選択） 【知識及び技能】 テニスの特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球技	・テニスの特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	35
	H 卓球（通年種目選択） 【知識及び技能】 卓球の特性やルールについて理解するとともに、ボールをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球技	・卓球の特性を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 ・仲間と協働し、作戦などを考えることができる。 ・仲間と声を掛け合いながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	
	H アルティメット（通年種目選択）	・ドリブル		・アルティメットの特性を理解するとともに、				

都立坪島高等学校 令和6年度 教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅢ

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：(1組：橋上・菊地・藤野) (2組：橋上・菊地・関野) (3組：吉岡・関野・橋上) (4組：吉岡・関野)
(5組：吉岡・藤野・菊地) (6組：吉岡・藤野・橋上) (7組：橋上・吉岡)

使用教科書：VISTA Communication English Ⅲ (三省堂) VISTA Communication English workbook (三省堂) be English Grammar23 workbook (いいずな書店) フレーズで英単語Cheer 3000 (いいずな書店)

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くことと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的・基本的な外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、基礎的・基本的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して基礎的な内容を適切に表現し	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、基礎的・基本的なことを、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	[English as an International Language] 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の歴史や変化について、その違いや文化との結びつきについて考えさせる。	・各国の伝統舞踊について、その違いや文化との結びつきを知る。 ・be動詞・一般動詞を理解する。 ・英語の歴史や変化についてやりとりする。	・英語の歴史や変化について、聞いて概要を把握できる。 ・英語の歴史や変化について、読んで概要を把握できる。 ・英語の歴史や変化について、話して伝え合うことができる。 ・be動詞・一般動詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	[Digital Art] 【知識及び技能】 現在完了形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術と芸術の結びつきについて考えさせる。	・デジタルアートについて知る。 ・現在完了形を理解する。 ・デジタルアートについてやりとりする。	・科学技術と芸術の結びつきについて、聞いて概要を把握できる。 ・科学技術と芸術の結びつきについて、読んで概要を把握できる。 ・科学技術と芸術の結びつきについて、話して伝え合うことができる。 ・現在完了形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	[Sports Unite People for Peace] 【知識及び技能】 受動態を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツを通しての世界平和について理解を深める。	・スポーツを通しての世界平和について知る。 ・受動態を理解する。 ・世界平和についてやりとりする。	・スポーツを通しての世界平和について、聞いて概要を把握できる。 ・スポーツを通しての世界平和について、読んで概要を把握できる。 ・スポーツを通しての世界平和について、話して伝え合うことができる。 ・受動態を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	[Let's Have a Picnic] 【知識及び技能】 動名詞と不定詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞と不定詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ピクニックの歴史とそのメリットについて考えさせる。	・ピクニックの歴史とそのメリットを知る。 ・動名詞と不定詞を理解する。 ・ピクニックの歴史とそのメリットについてやりとりする。	・ピクニックの歴史とそのメリットについて、聞いて概要を把握できる。 ・ピクニックの歴史とそのメリットについて、読んで概要を把握できる。 ・ピクニックの歴史とそのメリットについて、話して伝え合うことができる。 ・動名詞と不定詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2 学 期	[Dresden Elbe Valley] 【知識及び技能】 関係代名詞と関係副詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞と関係副詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて考えさせる。	・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて知る。 ・関係代名詞と関係副詞を理解する。 ・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについてやりとりする。	・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて、聞いて概要を把握できる。 ・ドレスデン・エルベ渓谷を通して、都市開発と自然保護のバランスについて、読んで概要を把握できる。 ・世界遺産をとりまく歴史と環境について、話して伝え合うことができる。 ・関係代名詞と関係副詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				15
	[Flowers from Life] 【知識及び技能】 名詞を就職する現在分詞、過去分詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 名詞を就職する現在分詞、過去分詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 いのちの花プロジェクトを通して命の大切さについて考えさせる。	・いのちの花プロジェクトについて知る。 ・名詞を就職する現在分詞、過去分詞を理解する。 ・命の大切さについてやりとりする。	・いのちの花プロジェクトについて、聞いて概要を把握できる。 ・いのちの花プロジェクトについて、読んで概要を把握できる。 ・命の大切さについて、話して伝え合うことができる。 ・名詞を就職する現在分詞、過去分詞を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				14
	定期考査			○	○		1
	[Global Refugee Crisis] 【知識及び技能】 比較級と最上級を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 比較級と最上級を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 難民問題について考えさせる。	・難民問題を知る。 ・比較級と最上級を理解する。 ・難民問題と課題解決に向けて自分にできることについてやりとりする。	・難民問題について、聞いて概要を把握できる。 ・難民問題について、読んで概要を把握できる。 ・難民問題について、話して伝え合うことができる。 ・比較級と最上級を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	15
	[Dream Bigger, Go Further] 【知識及び技能】 形式主語itを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語itを用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 植松さんのスピーチを通して自分の将来について考えさせる。	・バイオロギングの研究を知る。 ・分詞構文、強調構文を理解する。 ・動物や自然環境についてやりとりする。	・バイオロギングについて、聞いて概要を把握できる。 ・バイオロギングについて、読んで概要を把握できる。 ・動物や自然環境について、話して伝え合うことができる。 ・分詞構文、強調構文を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学 期	[The Open Window] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。	・物語の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・物語を聞いて概要を把握できる。 ・物語を読んで概要を把握できる。 ・登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
	[The Christmas Truce] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の会話やその意図、物語の展開について考えさせる。	・物語の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・物語を聞いて概要を把握できる。 ・物語を読んで概要を把握できる。 ・登場人物の会話やその意図、物語の展開について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				7
	[My Dream] 【知識及び技能】 文章に含まれる文法事項について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 野口氏が子供のころに書いた作文の内容について考えさせる。	・作文の内容を知る。 ・文章に含まれる文法事項を理解する。 ・物語の内容についてやりとりする。	・作文を聞いて概要を把握できる。 ・作文を読んで概要を把握できる。 ・野口氏が子供のころに書いた作文について、話して伝え合うことができる。 ・文章に含まれる文法事項を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。				7
	定期考査			○	○		1 合計 140

都立拝島高等学校 令和6年度 教科 情報 科目 情報処理基礎

教科： 情報 科目： 情報処理基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組～7組：都志見 ）

使用教科書：（ コンピュータ入力問題集 第4版 ）

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】情報処理に関する知識とタイピング技術等の習得及び情報技術の深化、総合化を図る。
- 【思考力、判断力、表現力等】事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。
- 【学びに向かう力、人間性等】情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

科目 情報処理基礎 の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【日本情報処理検定協会 ワープロ検定】に向けた実技演習 各自の進路から求められる情報処理技術について調べ、各自の今年度の目標を定める。 ・高度情報通信社会とタイピング ・文章入力スピード試験に向けた現在自分がもっている技術力を分析する	各自の進路から求められる情報処理技術について調べ、各自の今年度の目標を定める。 手書き問題から入力 ・ビジネス文書作成	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	14
	【日本情報処理検定協会 ワープロ検定】に向けた実技演習 ・高度情報通信社会とタイピング ・文章入力スピード試験に向けた現在自分がもっている技術力を分析する	・ページ設定 ・構成記号 ・表挿入 ・表の設定 ・行間設定 など	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	16
2 学 期	【日本情報処理検定協会 情報処置技能検定試験】に向けた実技演習	・文字・数字の入力 ・列幅変更 ・計算式 ・合計・平均関数 ・罫線処理 ・表示形式 ・％表示 ・表題・見出しの中央揃え ・文字列の左揃え・数字の右揃え ・印刷処理	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況				14
	【日本情報処理検定協会 情報処置技能検定試験】に向けた実技演習	・判断文 ・絶対参照 ・構成比率の計算 ・最大値・最小値の検索 ・端数処理関数 ・順位付け ・通貨表示 ・日付表示 ・並べ替え ・表検索 ・多重判断文 ・慧遠李演算子 ・日付の計算	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	16
3 学 期	【日本情報処理検定協会 情報処理技能検定試験】に向けた実技演習	・セルの証明 ・グラフの作成 ・自国の計算 ・データベース関数	【知識・技能】 各内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 例や改善方法などを挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストの取り組み状況	○	○	○	10
							合計 70

都立拝島高等学校 令和6年度 教科

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1 組：由良） （2 組：佐藤） （3 組：日野） （4 組：吉岡） （5 組：若菜） （6 組：猪俣）
（7 組：伊藤）

使用教科書：（ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 遠足事前指導	・遠足についての事前学習					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	3
	B 体育祭練習	・体育祭の意義を理解する。 ・集団行動、協調性とは何かを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	5
	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	8
	関心をもっている社会課題について、課題を自分ごととして捉え、主体的・協働的に学び、行動につなげる。	社会課題に関する探究					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	2
2 学 期	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	3
	D 進路	進路に対する意識を高める。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	2
	関心をもっている社会課題について、課題を自分ごととして捉え、主体的・協働的に学び、行動につなげる。	社会課題に関する探究					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	2

[illegible]